

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : トロント大学附属語学学校

**留学期間** : 平成 28 年 4 月 4 日 ~ 平成 29 年 3 月 2 日

私は現在英語の更なる上達、異文化理解などを主な目的としてカナダのトロントに留学している。ここには様々なチャンスが多く転がっている。例えば、教会で開かれているイングリッシュカンパセーションクラブでは、様々な国から来た人々と会い、話すことができる。馬が合えばそこで会った人と出かけることもあった。また、私の場合は中学、高校と卓球部に所属していたこともあり、卓球を通して何か繋がりを作っていけないかと考え、探していたところ、トロント大学の卓球部を見つけた。そして今は一部員として毎週の練習に参加し、部内で行われている団体戦にも出ている。そうして、多くの友達に出会うことも出来たし、仲が深まるほど、多くのことを話すようになった。政治、宗教、ジェンダー、自分たちの将来についてなどだ。ここに来る前は、カナダはとても自由で開放的な国で、様々なことに対して懐が深いのだろうな、と想像していた。大きく間違っただけではなかったが、例えば同性婚に対して全く理解できないし、したくもない、という人もいれば、個人の自由であるから他人が干渉することではない、とする人もいた。ネットだけでは知り得ない、話してみないと分からないことだ。グローバル化が進んでいく上で、様々な人の意見を知ることは大いに役立つことだろう。色々なコミュニティに参加してみることで、自分の価値観を広げることが出来ていると実感している。しかし、自分から行動していかなければ、チャンスを拾うことも出来ず、何も変わらない、と私は考えている。どういことかと言うと、与えられた機会だけに頼って過ごしているだけでは、約一年という非常に限られた時間の中で、学ぶこと、知ること、見るもの、聞くもの、全てのことがさらに限定的になってしまう。結果として、あまり自分自身が成長したという実感も持てないだろうし、実際にそうだと思う。もちろん、学校で学ぶこともたくさんあるし、クラスメイトと仲良くなり、そこで国際交流もできることだろう。だがそれだけでは、圧倒的に時間対パフォーマンスが合わない、ということになりかねない。以上のことから私が言いたいのは、積極的になることで、限られた時間の中でも、より多くのことや人に関わることができる。それにより、固定概念や先入観を少しずつではあるが、変えていくことができ、より広い視野を持って物事を見ていけるようになるということだ。まだまだ私は未熟であるし、知らないことの方が圧倒的に多い。だからこそ、残りの 2 ヶ月を今まで以上に有意義なものにしたいと思っているし、未だに多くの機会を求めて動いている。